



マシコット

議会だより

No. 130
平成27年
7月臨時会
9月定例会



土 祭

～夕焼けバーより土舞台を望む～



- 9月定例会・臨時会審議結果…2~5
- 常任委員会・会議……………5
- 一般質問……………6~15
- 議会を傍聴して……………16

9月定例会

平成26年度決算を認定

歳出総額 128億9,370万円

平成27年第145回定例会は、9月2日から11日までの10日間の会期で開かれました。

平成26年度一般会計・特別会計の6会計の決算認定のほか、契約1件、陳情5件、条例等の一部改正3件、規約の変更1件、補正予算6件、人事2件を審議し、全議案が原案どおり可決されました。

町政に対する一般質問では、10名の議員が登壇しました。

第144回臨時会

7月28日の臨時会において契約を1件審議し、原案通り可決されました。

○益子町防災行政無線デジタル移動系設備更新工事請負契約
 真岡消防署管内の移動系防災無線施設を構成市町と消防本部により共同で整備し、運営を図るため、
 ◇東京都中野区中野 四丁目10番1号
 との「6千998万4千円」の隨意契約締結について議決しました。

平成26年度会計別決算

会計区分	歳入総額	歳出総額	差引残高
一般会計	83億5,381万円	78億5,967万円	4億9,414万円
特別会計	国民健康保険	29億2,499万円	5,136万円
	後期高齢者医療	1億7,671万円	112万円
	介護保険	15億1,426万円	3,116万円
	内保険事業	15億 542万円	3,116万円
	訳サービス事業	884万円	0万円
	公共下水道事業	4億4,252万円	4,442万円
	農業集落排水事業	1億 666万円	306万円

【一般会計の主な歳出】

- [民生費] 25億8,686万円（児童手当支給額3億8,909万円、保育所入所措置費4億6,536万円、他）
- [総務費] 9億7,801万円（財産管理費1,954万円、住民基本台帳・戸籍システム関係3,228万円、他）
- [教育費] 8億 385万円（給食センター管理運営8,970万円、文化財保護修理費補助422万円、他）
- [農林水産費] 7億1,135万円（地域振興拠点施設整備事業2億2,024万円、芳賀台地負担金5,733万円、他）
- [土木費] 6億1,180万円（道路修繕・補修工事3,852万円、道路・橋梁新設改良工事1億3,769万円、他）
- [衛生費] 5億2,783万円（芳賀地区広域行政事務組合負担金（ごみ処理、し尿処理）1億2,145万円、他）

その後、各常任委員会に付託され、9月9日から10日にかけて集中審議を行い、その結果を本会議で報告し、全会計において認定されました。決算の認定にあたっては次のように意見が付されました。

今後とも行財政運営改革への積極的取り組みに努められ、最善の選択肢を持ってまちづくりを進めていたくことを切望し、決算審査の報告を終わります。

審査の結果につきましては、一般会計及び5つの特別会計の決算は、関係法令に基づいて作成されており、その計数は何れも正確であり、予算の執行も適切妥当なものと認めました。

また、審査は、決算書類等が法令規則に基づき調整されているか、係数は正確であるか、事務処理は適正且つ効率的に行われているか、財産は目的に沿って効率的に管理運営されているか、などについて留意し実施したところです。

決算については、代表監査委員から次のとおり決算審査報告がありました。

報告書
(抜粋)

代表監査委員 大槻 征夫
監査委員 黒子 秀夫

平成26年度一般会計・特別会計の歳入歳出決算については、代表監査委員から次のとおり決算審査報告がありました。

決算の認定

9月定例会 審議結果

総務産業常任委員会

委員長 加藤 芳男

〈一般会計〉

- 安全で安心なまちづくりを目指し、防災備蓄品の適正管理を図るとともに、町民の防災意識の高揚に努められたい。
- 公有財産については、適正管理と有効活用に努められた工を図られたい。
- 町税については、納税者の実態を把握し、適切な納税指導と滞納整理を行い、更なる収納率向上に努められたい。
- 農業振興については、新規就農者や認定農業者等の担い手の確保を図るとともに、耕作放棄地の抑制と農地流動化を積極的に進められたい。
- 地域振興拠点施設の整備事業については、スマートな施設を図られたい。

④農業振興については、新規就農者や認定農業者等の担い手の確保を図るとともに、耕作放棄地の抑制と農地流動化を積極的に進められたい。

⑤地域振興拠点施設の整備事業については、スマートな施設を図られたい。

⑥観光商工の振興については、さまざまな地域資源を活用し、交流人口の増加と地域経済の活性化を図られたい。

⑦道路整備については、住民の要望に応えられるよう、公平性を保ち、積極的に進められたい。



7.28 ふれあいサロン視察

教育厚生常任委員会

委員長 星野 壽男

- ### 〈一般会計〉
- 学校教育の施設・設備については、今後の老朽化を考慮し、改修・整備を計画的に実施されたい。
 - 町民の読書意欲の向上を図るために、書籍の充実、環境の改善に努められたい。
 - 有害鳥獣の捕獲については、捕獲意欲向上のための支援策を図られたい。
 - 少子化対策として、子育て

②医療費の抑制については、特定健診や人間ドックなど、保健予防事業を推進するどもに、ジエネリック医薬品の

③高齢者の活動や交流の場の充実を図り、生きがいづくりの支援に努められたい。

④国民健康保険特別会計

①高齢者の活動や交流の場の充実を図り、生きがいづくりの支援に努められたい。

②後期高齢者医療特別会計

①普及促進に努められたい。

②介護保険特別会計

①被保険者間の負担の公平を確保するため、未納対策を強化された。

平成26年度健全化判断比率及び資金不足率の概要

報 告

○平成26年度健全化判断比率 及び資金不足比率

化に関する法律の規定により、監査員の意見を付けて左記のとおり報告されました。

健全化判断比率及び資金不足比率	平成26年度決算に係る比率(%)	早期健全化基準又は経営健全化基準(%)
1 実質赤字比率	-	15.00
2 連結実質赤字比率	-	20.00
3 実質公債費比率	8.7	25.0
4 将来負担比率	47.3	350.0
5 (1)公共下水道事業に係る資金不足比率	-	20.0
(2)農業集落排水事業に係る資金不足比率	-	20.0

1 健全化判断比率

各市町村において算定する4つの指標。早期健全化基準以上となった場合は、計画策定等一定の義務が生じる。

①実質赤字比率：一般会計の実質赤字の割合
益子町→実質赤字額を生じていない。

②連結実質赤字比率：全ての会計をあわせた時の実質赤字の割合
益子町→連結実質赤字を生じていない。

③実質公債費比率：一般会計支出のうち、借入金返済額等の割合の3か年平均値
益子町→実質公債比率は8.7%であり、これは早期健全化基準の25.0%を下まわっている。

④将来負担比率：一般会計で、将来負担すべき実質的負債の割合
益子町→将来負担率は47.3%であり、これは早期健全化基準の350.0%を下まわっている。

2 資金不足比率

公営企業を経営する市町村等において、公営企業に係る会計ごとの資金不足額の割合。

経営健全化基準以上となった場合は、その会計について、計画策定等一定の義務が生じる。

益子町→公共下水道事業、農業集落排水事業とも資金不足を生じていない。

契約

- 地域振興拠点施設整備事業
(建築工事) 工事請負契約
(全員賛成)

4者による一般競争入札の結果、

◇東京都新宿区

津久戸町2番1号

◇株式会社熊谷組首都圏支店が落札し、「7億8千181万2千円」の契約締結について議決しました。

条例の改正

- 益子町情報公開及び個人情報保護に関する条例の一部改正
(全員賛成)

行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、特定個人情報保護に関する措置を講じるため、本条例の一部を改正しました。

- 益子町手数料徴収条例の一部改正
(全員賛成)

行政手続きにおける特定の個人を識別する番号制度のために個人番号カード等の再交付手数料を定め、住基カードの交付手数料を廃止しました。

規則の改正

- 益子町議会会議規則の一部改正
(標準) 町村議会会議規則の一部改正にあわせ、議員が出産のために出席できないときの欠席届について規定しました。

規約の変更

- 栃木県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び栃木県市町村総合事務組合規約の変更
(全員賛成)

大田原地区広域消防組合と黒磯那須消防組合を廃し、那須地区消防組合が設立されることに伴い規約が変更されました。

人事

- 益子町教育委員会委員の任命の同意
(全員賛成)

平成27年9月30日付けをもって任期が満了する、益子町大字前沢 高橋 彰氏の後任人事で引き続き同氏の任命が同意されました。

陳情

- 人権擁護委員候補者の推薦
(全員賛成)

平成27年12月31日付けをもって任期が満了する、益子町大字七井 大嶋隆子氏の後任人事で引き続き同氏が推薦されました。

専決処分の報告

- ◇趣旨 小学校3年生以降の35人以下

○損害賠償額の決定及び和解について

平成27年5月24日の町所管の消防車による建物への接触事故により益子町大字七井の建物に損害が生じた件について

て、建物所有者に修繕料相当額5万1千867円を支払うことと和解したとの報告を受けました。

○損害賠償額の決定及び和解について

平成27年6月21日の町公用車による建物への接触事故により東京都品川区の建物に損害が生じた件について、建物所有者に対し修繕料相当額22万1千616円を支払うことで和解したとの報告を受けました。

- ◇趣旨 同組合執行委員長 篠原章彦

○高等学校等就学支援金の所得制限をやめるとともに、奨学給付金を拡充して給付制奨学金を確立すること。

○特別支援学校の「設置基準」策定を国に求める陳情

厳格に徴税される日本人世帯との格差が大きく、課税に不公平が生じておりワーキンググループの一因となっている。国の制度を抜本的に改善する必要がある。

◆審議結果

この陳情は本会議において特別支援学校の設置基準策定を求める意見書を国に提出された。

陳情

- 「大学生への給付制奨学金創設」を求める陳情
(全員賛成)

○「国責の責任による35人以下の学級の前進」を求める陳情
(標準) 陳情者 宇都宮市兵庫塚 全栃木教職員組合 執行委員長 篠原章彦

○「国責の責任による35人以下の学級の前進」を求める陳情
(標準) 陳情者 宇都宮市兵庫塚 全栃木教職員組合 執行委員長 篠原章彦

○「大学生への給付制奨学金創設」を求める陳情
(全員賛成)

○「大学生への給付制奨学金創設」を求める陳情
(標準) 陳情者 同組合執行委員長 篠原章彦

町政に対する一般質問



小島 富子 議員

10名の議員が登壇

ふるさと納税制度について

小島 ふるさと納税を推進するため新規に予算が盛り込まれました。納税頂いた方々への謝礼品として町内の特産品を贈り、地場産業の販売促進やPRなど地域産業の活性化との相乗効果を目的としています。近年全国の自治体でも多彩な返礼品が注目を集めていますが、わが町も集めております。

企画課長 9月の補正で計上させさせて頂きます。

予算是すでに使いきっていますが、今後はどのようにしていかれるのかについてお伺いします。

ことはできましたので、早くお話をされるつもりです。特に未発表バイパス法線については、地域住民同士に禍根を残すことにならないようご配慮願います。農の暮らしは過去何代にもわたり住民たちの強いきずながあつてこそ、田畠を耕し守りながら、暮らしを支え合ってきたからです。

次に「町道45号本沼追分線道路拡幅工事の今後の予定」についてお伺いします。

ましこ男女共同参画プランについて

小島 計画の期間が平成24年～28年までの5年間であります。女性参画率30%を目標としていますが、残り1年半あまりです。目標値はどこまで伸びてきていますかお伺いします。

小島 働く場における参画として仕事と生活の調和、ワーカーライフバランスの普及啓発があります。身近なところで庁舎内における男性職員の働き方や、育児休業取得状況についてお伺いします。

小島 男性につきましては実績1名でございます。

小島 大変低いのですね、思つていた通りでした。

小島 ご指摘の参画率でございますが、平成22年登用率が10%に対し、26年度より民生委員、児童委員の登用が反映され20.4%、27年度は23.1%となっています。目標値30%には届いていませんが着実に増加してきています。

ましこ男女共同参画プランについて

小島 働く場における参画として仕事と生活の調和、ワーカーライフバランスの普及啓発があります。身近なところで庁舎内における男性職員の働き方や、育児休業取得状況についてお伺いします。

町長 今年6月からスタートさせました。インターネットの納税専用サイト、銀行、郵便局、クレジットなどから寄付がしやすい環境づくりに努めました。8月末現在寄付額は3ヶ月で860万となつております。日々の滑り出しであると考えております。返礼品は43品目を用意しております。

町長 町で建設を進めている道の駅に隣接をする重要な路線であり、早期に法線を決定して頂くよう要望しているところです。

町長 平成26年度で75%が完了しています。今後も引き続き交付金事業を活用して、早期に工事を完了するよう実施してまいります。

小島 特に高齢化が進んでいいる地域ですので、生活道路整備事業は欠かすことできません。この道路の総事業費や総延長についてお伺いします。

小島 法線については現在白紙であるとのことです

小島 約1億6千600万円の予定です。全体の延長は約770メートルの予定です。

小島 生活様式が多様化していく方が多くおられることが町からの返礼品に魅力を感じていている方が多いおられることや、地場産業との相乗効果が出てきているなど有効な事業になりつつあると考えます。

小島 いく時代、町民ニーズにどう対応していくかが問われてきます。今後もパイプ役としていくつもりでございます。

小島 働く場における参画として仕事と生活の調和、ワーカーライフバランスの普及啓発があります。身近なところで庁舎内における男性職員の働き方や、育児休業取得状況についてお伺いします。

町長 今年6月からスタートさせました。インターネットの納税専用サイト、銀行、郵便局、クレジットなどから寄付がしやすい環境づくりに努めました。8月末現在寄付額は3ヶ月で860万となつております。日々の滑り出しであると考えております。返礼品は43品目を用意しております。

町長 町で建設を進めている道の駅に隣接をする重要な路線であり、早期に法線を決定して頂くよう要望しているところです。

町長 平成26年度で75%が完了しています。今後も引き続き交付金事業を活用して、早期に工事を完了するよう実施してまいります。

小島 特に高齢化が進んでいいる地域ですので、生活道路整備事業は欠かすことできません。この道路の総事業費や総延長についてお伺いします。

小島 約1億6千600万円の予定です。全体の延長は約770メートルの予定です。

小島 生活様式が多様化していく方が多くおられることが町からの返礼品に魅力を感じていている方が多いおられることや、地場産業との相乗効果が出てきているなど有効な事業になりつつあると考えます。

小島 いく時代、町民ニーズにどう対応していくかが問われてきます。今後もパイプ役としていくつもりでございます。



高橋 美江 議員

<質問要旨>

◆観光行政（政策）について



観光行政（政策）について

高橋

今回の一般質問は観光についてスポットを当てて質問します。新ましこ未来計画において基幹産業として観光が掲げられています。

地方創生といわれる中で観光の力は、地域経済や雇用創出、伝統産業や文化発展等、経済波及効果は極めて大きい産業と言えます。観光地としてスポットを浴び魅力ある、町民が誇れる町づくりをする事が人口減少問題対策にも有効だと思いますが町長の考えはいかがでしょうか。

高橋

観光戦略について、新ましこ未来計画の中に

光は挙げられ、世界的にも裾野が広い産業と言われています。今までの益子焼の観光にプラスアルファを日々増やしながら観光を切り口に産業づくりをしていきたいと思っています。

高橋

観光協会の役割について、観光課との連携も含め、その活動を町長はどう

かし易く商品としてどう伝えしていくかは、今後の課題だと考えております。

町長

非常に良い提案だと思いま

う。ガイドなどを取り組む観光地もあり先進地の事例も参考にしながら今後十分に検討して参りたいと考えています。

町長

お客様にお越し頂く動機づけとして、具体的に顔の見えるおつきあいをより広め深める事は、非常に有効であると考え、積極的に取り組みたいと思います。

Rに繋がる良いチャンスと紹介、農作物の事、歴史等の情報も含め発信する事が地方創生そのものと思います。

高橋

観光大使と並行し姉妹都市計画拡大も益子P

町長

このましこ未来計画において基幹産業として観光が掲げられています。

高橋

観光戦略について、新ましこ未来計画の中に

高橋

観光協会は益子のビジネスとして観光客を誘客する施策や緻密な戦略が必要だと思いますが町長のお考えをお聞きします。

町長

まさに不足している所と想っています。町にタウンプロモーション係が出来ましたが観光協会と協力し専門的知識を持つ方と共にプ

高橋

観光パンフレット製作について、益子関係の様々な物があるが、益子観光の魅力を漏れなくお客様目線で伝えていく為には、様々な制限を乗り越えた上で製作が必要です。提案ですが、観光協会会員、商工会会員、飲食業、窯業、農業その他店舗の皆様全ての皆様の垣根を越えた大同団結での観光客目線

の力も借り益子の魅力を分かりやすく商品としてどう伝えていくかは、今後の課題だと考えております。

四季折々のイベント、祭りの紹介、農作物の事、歴史等の情報も含め発信する事が地方創生そのものと思います。

高橋

観光大使と並行し姉妹都市計画拡大も益子P

を作成してはどうでしょうか。Rに繋がる良いチャンスと考

えます。セントアイヴス、ダブルイン、国内に於いても米沢市、笠間市等の他に交流を深められる地域との交流も積極的に取り組む課題と思いま

星野 最近、子供達によるいのん事件や問題が起きていました。命の尊さや他人を思いやるというような心の教育を見直しなくてはなら

機関などと連携して取組んでいます。

星野 益子町の小中学校でのいじめの現状と、いじめに對しての対応並びに対策を伺います。

教員長 今までに何件かあります。これが深刻ないじめはありません。ほぼ解消しています。対応についていじめ防止基本方針を作成し対応しています。教育委員会ともいじめ防止連絡協議会を作り、組織的に対応できるよう学校を支援しています。防止対策として組織力を發揮するため保護者、地域住民、行政機関などと連携して取組んでいます。

道徳の時間に心の教育を

星野 壽男 議員



〈質問要旨〉

- ◆いじめの現状について
- ◆これからの益子焼について
- ◆地方創生対策について
- ◆区画整理事業（役場周辺）の進捗状況について

星野 現在、益子焼の売り上げは最盛期の3分の1にまで減っています。益子焼を以前のように盛り上げる為に對策があるようでしたら伺います。

星野 親切、思いやり、強い意志、生命の尊重とそ

ういう内容項目などが年間指導計画に位置づけられ計画的、意図的に授業をしています。

星野 中身を濃くして頂き心の教育の中に命の尊さや仲間意識を深められる様な授業を求めてます。

地方創生の活用について

星野 益子町では地方創生の対策を新未来計画の作成と一緒に考えていくようですが、地方創生に対する町長

これまでに7回実施しています。これから休止しています。益子独自の陶芸展というものを探つて参りましたが、結論を見出す事ができませんでしたが、是非復活に向け検討していきたいと思っています。

人間国宝につきましては、作家個人の文化的な活動を社

会に向けてお願いし、県のほうにも文化功労者の推薦をして将来的に人間国宝の誕生を期待したいと思っています。

図書館建設を早急に

星野 まちづくり研究会の中

で区画整理事業につい

て構想を練つていると思いま

町長 町民の皆様から早く図書館をという声をいた

だいている中でご提案をしつかりと受け止めながら、今後様々な角度で検討させていただきたいと思つています。

星野 これから新未来計画がどう織り込んでありますか？再度練り直していきたいと考えています。

の見解を伺います。

てきているので、新未来計画の中で検討していくたい。同

時に並行して図書館についても検討していきたいと考えて

星野 新たな図書館建設には時間がかかるようになります。

子供達や本の好きな人がします。

人口減少に歯止めをかけたが、また、益子焼に箔をつける為にも人間国宝が必要だと思つが行政指導で進めてはいかがか。

かにして地域の創生を実現するため、新ましこ未来計画を町民共通の指針としていた

一つの地域が存在しているこ



高橋 正則 議員

<質問要旨>

- ◆女性の経験、知恵を政策に活かすための方策について
- ◆観光大使の委嘱について
- ◆小宅古墳群の公園化について

そこでお伺いをします。多くの女性の声を聞くために無作為で抽出し、参加者全員が話せる程度の単位で懇談会のようものを開催し、町の政策に反映させてはいかがかと思いますが、町長のお考えをお聞かせ下さい。

小宅古墳群地域の公園整備について

女性の経験、知恵を政策に活かすための方策について

女性が、今まで町内会、PTA活動、各種団体を通したボランティア活動など、地域社会に大きく貢献していることは皆さん周知のことだと思います。

しかし、そういう女性の意見は今までいろいろな制度や仕組み、そして自分の生活に影響を与える政策に對して十分反映されているかといえども女性ならではの視点からば、それほど大きくはなく、また意思決定の場に参画する数も著しく少ないと私は思っています。

女性の声を政策に生かし、女性の視点から暮らしやすい社会制度や仕組みをつくることは、全ての人にとって暮らしやすい社会をつくることにつながっていくと思います。

今後は地方創生の実践に当たるためで抽出し、参加者全員が話せる程度の単位で懇談会のようものを開催し、町の政策に反映させてはいかがかと思いますが、町長のお考えをお聞かせ下さい。

多くの女性がさまざまな立場からボランティア活動などで地域社会に大きく貢献していることは、周知のとおりでございます。今后とも女性ならではの視点から幅広く意見や提言を取り入れることは、暮らしやすい社会づくりに欠かせないことであります。

女性模擬議会の開催や新まちづくり計画への意見、提案などこれまで女性の意見を取り入れ、政策に反映できるよう努めてきたところですが、今後は地方創生の実践に当たるため、女性の声を政策に生かし、女性の視点から暮らしやすい社会制度や仕組みをつくることは、全ての人にとって暮らしやすい社会をつくることにつながっていくと思います。

女性の声を政策に生かし、女性の視点から暮らしやすい社会制度や仕組みをつくることは、全ての人にとって暮らしやすい社会をつくることにつながっていくと思います。

多くの女性がさまざまなかたちで地域社会に大きく貢献していることは、周知のとおりでございます。今後とも女性ならではの視点から幅広く意見や提言を取り入れることは、暮らしやすい社会づくりに欠かせないことであります。

多くの女性がさまざまなかたちで地域社会に大きく貢献していることは、周知のとおりでございます。今後とも女性ならではの視点から幅広く意見や提言を取り入れることは、暮らしやすい社会づくりに欠かせないことであります。

女性の声を政策に生かし、女性の視点から暮らしやすい社会制度や仕組みをつくることは、全ての人にとって暮らしやすい社会をつくることにつながっていくと思います。

町長

高橋 七井地区小宅の亀岡八幡宮から青田地区にまたがり県指定文化財の小宅古墳群があります。前方後円墳

高橋 七井地区小宅の亀岡八幡宮から青田地区にまたがり県指定文化財の小宅古墳群があります。前方後円墳

Sで観測し、古墳の位置、形を正確に石板に写し取り、案内板として活用すべく、製作、設置に取り組んでいるとのことです。また以前からある道を散策路として歩けるようにならねばなりません。今後整備していく計画もあるとのことです。

未来計画においても、小宅の他各地域の地方創生という策をしつかりと見てまいり、小宅古墳群を中心とし、小宅城址も含めたこの一帯を北部地区の拠点として公園整備してはいかがか。もちろん古墳地帯には手を加えずの公園化です。町長のお考えをお伺いします。

そこでお伺いをします。この小宅古墳群を中心とし、小宅城址も含めたこの一帯を北部地区の拠点として公園整備してはいかがか。もちろん古墳地帯には手を加えずの公園化です。町長のお考えをお伺いします。

※その他の観光大使の委嘱とその活動について提案を含めて質問しました。

観光大使の委嘱は10名を予定しており、議員提案の意見もしつかり受け止めながら参考にさせていただきたいとの答弁をいただきました。

あわせて活動し、古墳群の維持管理に取り組んでおられ、古墳群の清掃作業はもとより、木200本余り、菜の花畑1.5haが整備され、春は特にきれいな風景が見られます。今年の春は、田野小の児童が古墳の学習を兼ねて訪れたようです。

現在は、古墳の位置をG P Sで観測し、古墳の位置、形を正確に石板に写し取り、案内板として活用すべく、製作、設置に取り組んでいるとのことです。また以前からある道を散策路として歩けるようにならねばなりません。今後整備していく計画もあるとのことです。

未来計画においても、小宅の他各地域の地方創生という策をしつかりと見てまいり、小宅古墳群を中心とし、小宅城址も含めたこの一帯を北部地区の拠点として公園整備してはいかがか。もちろん古墳地帯には手を加えずの公園化です。町長のお考えをお伺いします。

そこでお伺いをします。この小宅古墳群を中心とし、小宅城址も含めたこの一帯を北部地区の拠点として公園整備してはいかがか。もちろん古墳地帯には手を加えずの公園化です。町長のお考えをお伺いします。

※その他の観光大使の委嘱とその活動について提案を含めて質問しました。

観光大使の委嘱は10名を予定しており、議員提案の意見もしつかり受け止めながら参考にさせていただきたいとの答弁をいただきました。

益子町議会だより No.130
平成27年11月1日発行

派遣事業について



磯部 浩 議員

〈質問要旨〉

- ◆広島市の平和記念式典に中学生を派遣する考えについて
- ◆町道4号栗崎道祖土線の歩道の整備について

町長

当町では、平成3年に非核平和のまち宣言をしており、次代を担う中学生に戦争の悲惨さや平和の尊さを認識してもらうことは、必要なことと考えております。

また、広島平和記念式典に参列することも、将来自分たちの世代が平和のために果たすべき役割を認識するきっかけの一ひとつと考えております。

子供たちが平和の尊さを学ぶためにどのような方法が適当なのか、そしてどのような手順で行うのが適当なのか、議員のご提言を受けとめての成長を促す」という事でがら今後検討してまいりたいと考えております。

現在行われている学校関係の派遣事業について、その目的や参加人数、及びその費用などについてお聞かせ下さい。

磯部

派遣の目的は違いますが、広島の平和記念式典への派遣は各中学校から2名、計6名とすると費用は自己負担なしで海外派遣に比べ

花博も結構、土祭も道の駅も新未来計画も本当に前向きな事で結構なことです。しかし、平和でなければ何もできません。早期に実現されるよう望みます。

課長

中学2年生を対象に友好都市でありますイギリスのセントアイヴスへ派遣をしています。年間12名。各中学校からの応募、その後選考によりまして派遣をしてい

るところでございます。自己負担につきましては15万円を限度とするということですが、今のところは10万円ほどの自己負担ということでお遣をさせていただいております。総額につきましては、町の補助、それから自己負担も含めまして総額690万円程度の予算を見込んでおります。

ほどの自己負担ということで派遣をさせていただいているには、必ずしも含めまして総額690万円程度の予算を見込んでおります。

価点が高く優先順位も当然高いはずです。

この視点から考えて、町はこの四号栗崎道祖土線の歩道の整備についてどのように考えているのか、お聞かせ下さい。

道路整備につきまして針に基づき順次実施をしております。

町道4号栗崎道祖土線の歩道整備につきまして、この道路は単に通勤・通学などの生活道路だけでなく、バス路線

ています。既に40年が経過していることになります。

なお、今後の道路整備につきましては、現在も策定中であります新ましこ未来計画にありますように、安全、安心のまちづくりというものを十分考慮して、通学路の整備等も含めて進めてまいりたいと考えております。

磯部

四号線の歩道について町長の熱い思いをもう一度お聞かせ下さい。

私も過去のさまざまなものも含めまして、益子町道路整備指針と申しますが、この歩道整備について、お聞かせ下さい。

道路整備につきましては、益子町道路整備指針に基づき順次実施をしておりました。

町道4号栗崎道祖土線の歩道整備につきまして、この道路は単に通勤・通学などの生活道路だけでなく、バス路線

でもあり、観光ルートとして重要な路線であるという認識をしております。そのため、栗崎交差点から益子中学校南側入り口付近までの区間の歩道整備とあわせて右折レーンの整備をするための事業を今は、昭和49年頃と聞いています。

ございます。

ながら、地元の協力、それからその現状等々を見比べながら、可能な限り、予算の許す限り、前向きに検討して、整備して行きたいというふうに思っています。

町道4号線の歩道について

この町道が開通したのは、昭和49年頃と聞いています。

この町道が開通したのは、昭和49年頃と聞いています。



河原 誠 議員

〈質問要旨〉

- ◆空き家問題について
- ◆町有財産について
- ◆乗車運賃の補助について

の観点から調査をしました。

河原 空き家の具体的な現状と町の対策や対応について、町の考えをお尋ねします。

町長 平成21年度に町総務課で調査した空き家廃屋調査で、141戸というデータがあり、これを町の現状と考えています。空き家と言つても安全性が担保できるものもあるので、今後の未来計画の中で検討をしている施策に合致するものであれば利活用ができるようにならうと考えています。

います。

河原

この調査の動機は何ですか。

総務課長

人が住んでいないところでの火災等の危険が出てくるということで、管理上の問題がある家屋を防災上

河原

旧小宅小学校の校舎・校庭や屋内運動場など

町は具体的な考え方をお持ちですか。

町有財産について

副町長 この特別措置法を受けたて、それぞれの市町村ではこういうことをやるべきだというような内容が書いてあります。空き家と言つてもあり、それに基づいて実施をしていきたいと考えています。

ただ、市町村だけではなくて、県もともにこの対策について進めると、知事が表明をしています。

います。

現在は廃校跡地利用検討委員会での協議結果を踏まえ、建物自体が老朽化をして耐震化もされていないということでも安全性の確保が困難、建物の用途変更の手続にかなりの費用がかかりることが予想されることから、庁舎内で不足している書庫として利用していることがあります。体育館についても、同様の理由から町のイベント等の物品、資材置き場として利用しています。

また、七井分館跡地については、七井小学校の学校行事等の際の臨時駐車場として利用しています。

河原 旧小宅小学校の解体費用の見積もりをとったことはありますか。

金課長

ありません。

では、旧小宅小学校、七井分館跡地について、

民間の不動産関係者と

町長 ただし、スクールバスを含め、ほかの公共交通利用制度との兼ね合いや長期的な財政負担ということも、考慮しなければなりませんので、この提案については、今後の検討課題と考えています。

この補助を行うことにすれば、真岡鐵道の利用をしてもらえば、やはりこれが一番だと考えています。今後の利活用については、地域の皆様方の考えを十分取り込みながら町としても方針を決めていきたいと考えています。

施設の本来の目的が終わっても再び地域の資源として利活用をしてもらえば、やはりこれが一番だと考えています。

今後の利活用については、地域の皆様方の考えを十分取り込みながら町としても方針を決めていきたいと考えています。

この補助を行なうことにすれば、真岡鐵道の利用促進のみならず、子育て支援として高校生を養育する保護者の経済的負担の軽減、また地元高校の生徒数の確保、定住促進につながるということも期待できます。

また、更地の状態の七井分館跡地に対する有効な活用方法など、町の考えをお尋ねします。

館跡地を含めた公共施設を取り巻く環境には、老朽化に伴う修繕費の増加、そこに充当するための財源確保、少子高齢化による施設利用者の減少など幾つかの問題、課題が出始めています。

町では長期的な観点から公共施設の管理に関する基本方針を定め、公共施設等総合理計画を策定することにしてきました。一方で、旧小宅小学

校、旧七井分館などこれまで長年にわたって地域で大切にされてきた施設については、施設の本来の目的が終わっても再び地域の資源として利活用をしてもらえば、やはりこれが一番だと考えています。今後の利活用については、地域の皆様方の考え方を十分取り込みながら町としても方針を決めていきたいと考えています。

河原

現在、新築中の芳賀広域消防益子分署、その跡地を土地改良区事務所用地として活用されたい。

協議したことはありますか。



人口減少対策（移住者受入）について

高橋

人口減少対策（移住者受入れ）について、U・I・Jターン移住者への情報発信、広報活動への取り組みの現状について伺います。

益子町の中長期人口推移分析データを見ると、2015年7月現在の本町人口2万3千人391人は2055年に1万5千人を割り込み、さらにその後も減少の一途をたどり、ついには1万人を割り込むとしています。

この極めて厳しい状況を踏まえ、どのような情報の発信をしているのか伺います。

①出店希望者には、企業支援補助金制度
②古民家移住希望者には、古民家の紹介、リノベーション補助金制度
③若い世代であれば、雇用・

町長

平成27年3月に開設されました総務省のインターネットサイト、全国移住ナビに登録をしております。

高橋 家光 議員

〈質問要旨〉

- ◆人口減少対策（移住者受入）について
- ◆マイナンバー制度について
- ◆益子道の駅について
- ◆イノシシ対策について

教育・小児医療

そこで伺います。移住者、あるいは移住希望者お一人お一人のニーズに対応できる相談窓口の必要性についてのお考えを伺います。

町長

現状は、各部署で担当が制度等を案内する形になつております。少子化、モーションでは、子育て世代の転入促進を前提として将来人口の目標を掲げる事としております。移住促進の為に移住担当部署の創設や相談窓口のワンストップ化が非常に重要なと考えています。

今後は現状のマイナンバー制度に沿うような形で見直しを行い、情報セキュリティに対する考え方を改めて職員に周知徹底させてまいります。

マイナンバー制度について

高橋

本町に移住された方々あるいは移住を希望されている方々にとって、より具体的な相談ができる窓口が必要と考えております。一過性のものではなく、移住者の皆さんも、行政も双方向で思える事が大切と考えます。

住民に向けたマイナンバー制度の予測される不安、懸念に対する説明のあり方について伺います。

年金情報流失問題で、制度を危惧疑問視する声が数多あります。運用開始に向けた対応を伺います。

セキュリティ対策について、町ではマイナンバーを含む特定個人情報など

イノシシ対策について

高橋

イノシシ対策についてお伺いします。また、生田目・石並地域の子供たちは山道を通って通学しています。

道の駅について

高橋

道の駅の管理運営は、第三セクター方式によるものと説明を受けました。

対応をお伺いします。

道の駅について

高橋

八溝山地を挟んだ15市町で茨城栎木鳥獣害広域対策協議会を組織し取り組んでおります。

通学路に関しては、重点的に捕獲し子供たちの安全管理につとめてまいります。

管理運営は、益子町と民間企業が共同出資した第三セクターの株式会社を設立し、その会社を指定管理者に指定し行います。

入札参加基準は、地域条件や格付け、実績を元に選定しております。今回の基準は、関東圏内より建設一式工事の総合評定値が1400点以上である事、共同企業体の参加

は町内における建築工事A格付を受けていること、大規模な木造屋根架構を有した工事実績が有る事とし、なお8月26日に一般競争入札を行い、9月1日に㈱熊谷組と仮契約を締結しました。

議会を傍聴して



坪田 康佑さん
職業（訪問看護師）

「うわあテレビでしか見たことない世界が広がつている！」傍聴席に初めて立つた時、私は心中で叫びました。本当は、声に出したかったのですが、議会という厳かな雰囲気に少し躊躇してしまいました。

議会が始まると、益子町のことを、未来のことを本気で考えている方々の質問と回答が飛び交いました。キリっとした雰囲気の中、町のことを思う温かみの雰囲気の居心地のよい空間で益子町のことをより学ばせて頂きました。

私は現在、益子町唯一の訪問看護ステーションを運営させて頂いている者として、益子町の医療費助成制度はもち

医療・看護・介護・福祉は、議会の決定に影響を受けることが多々あり、患者様利用者様からも質問を頂くことがあります。議会の内容を学ぶことで、患者様利用者様にはよりわかりやすく伝えることができると思いますので、今後は時間が許す限り参加し学ばせて頂いていきます。

「うわあテレビでしか見たことない世界が広がつている！」傍聴席に初めて立つた時、私は心中で叫びました。本当は、声に出したかったのですが、議会という厳かな雰

ろんのこと、高齢者総合福祉計画や特定健康審査等実施計画などは読み込んでいるのですが、その計画や制度が作り上げられる背景ややり取りを知らなかつたので興奮致しました。

議会日誌

8月

- 2日 教育厚生常任委員会（郡市民体育祭激励）
- 24日 議会運営委員会
- 25日 全員協議会
総務産業常任委員会
教育厚生常任委員会
- 27日 芳賀中部上水道企業団水道運営協議会

9月

- 1日 芳賀郡市町議会議長会定例会
芳賀広域行政事務組合議会定例会
- 2日 定例会（～11日）
- 11日 議会基本条例策定特別委員会
- 25日 芳賀中部上水道企業団議会定例会
芳賀郡中部環境衛生事務組合議会定例会
- 28日 議会だより編集特別委員会

10月

- 2日 全員協議会
議会基本条例策定特別委員会
- 14日 教育厚生常任委員会行政視察研修（～15日）
- 20日 議会運営委員会
- 21日 芳賀郡市町議会議長会行政視察研修（～23日）
- 28日 全員協議会
総務産業常任委員会
教育厚生常任委員会
- 29日 総務産業常任委員会行政視察研修（～30日）

あなたも 議会を傍聴しませんか

次回 12月1日(火) 開会予定

本会議当日、議会事務局（役場庁舎3階）で傍聴券を交付します。予約は不要です。

9月定例会の傍聴者数は



議会だよりNO.130 2015年11月1日発行

発行／益子町議会

編集／益子町議会だより編集特別委員会

栃木県芳賀郡益子町大字益子2030番地

TEL 0285-72-8858・8859 FAX 0285-72-0900

HP <http://www.town.mashiko.tochigi.jp/>

E-mail gikai@town.mashiko.lg.jp

印刷／㈱益子印刷